

キャンティー自動溶接ライン・組み立てラインにおけるカイゼン業務のデジタル変革事業

株式会社杉山
岐阜県各務原市金属団地112
<http://www.sugi-yama.jp>

課題

- ・カイゼン業務自体が極めてアナログ的
- ・何度も現場に足を運びカイゼン課題を認識
- ・現状調査や検証作業などの
作業時間測定に多くの時間がかかる

事業の効果、今後の展開

- 生産性向上の成果獲得加速化
カイゼン業務自体の生産性向上
教育ツールの充実/生産性向上の持続化/デジタル変革の習慣化
- ・カイゼン業務想定期間 12ヶ月→3ヶ月=9ヶ月
 - ・カイゼン業務想定工数 96日/年→24日/年=72日/年
 - ・キャンティー自動溶接・組み立てライン作業人数 7名→3名=4名
想定効果金額 23,040,000円/年

実施内容

キャンティー自動溶接ライン デジタル変革

- ①デジタルソフト活用による動画撮影
及び課題解決前作業の整理
- ②デジタルソフト活用による作業順序、作業内容、作業時間別Excelデータ作成
- ③デジタルソフトスローモーション再生機能活用による
作業動作課題発見・課題共有
- ④作業動作課題発見による課題解決
- ⑤デジタルソフトスローモーション機能活用による
課題解決後のさらなる課題発見
- ⑥デジタルソフト活用による課題解決前
及び課題解決後作業比較
- ⑦デジタルソフト活用による標準作業手順書作成作業
- ⑧デジタルソフト活用による外国人作業向け
標準作業手順書作成作業

キャンティー組み立てライン デジタル変革

- ①デジタルソフト活用による動画撮影
及び課題解決前作業の整理
- ②デジタルソフト活用による作業順序、作業内容、作業時間別Excelデータ作成
- ③デジタルソフトスローモーション再生機能活用による
作業動作課題発見・課題共有
- ④作業動作課題発見による課題解決
- ⑤デジタルソフトスローモーション機能活用による
課題解決後のさらなる課題発見
- ⑥デジタルソフト活用による課題解決前
及び課題解決後作業比較
- ⑦デジタルソフト活用による標準作業手順書作成作業
- ⑧デジタルソフト活用による外国人作業向け
標準作業手順書作成作業